

S & DL 水位・導電率計



概要

従来、地下水の塩水化現象や環境汚染の状態を調査する場合には、1つのボーリング孔に水位計と導電率計を設置していました。このため、コストの問題に加えてデータロガーの設置場所や設置方法、更にはデータの回収やバッテリーの保守などの面で多くの課題がありました。

「S&DL 水位・導電率計」は、これらの問題を解消するために、水位計と導電率計、そしてデータロガーを1つのプローブに集約させる事で、容易な現場設置・簡便な保守作業を実現した、現場モニタリング専用の計測器です。

導電率の測定には電磁誘導方式を採用する事で、長期間にわたって安定した計測が行えます。

特長

- ◆ 電磁誘導方式の採用により、非接触で導電率を測定出来ますので、電極方式に見られるような電極の汚れや分極容量による影響を受けず、長期に渡り安定した測定が可能です。水位測定には、チタン性高性能型圧力センサを採用し、電磁誘導方式の導電率とあわせて耐久性や信頼性の向上を図っています。
- ◆ ボーリング孔口部に容易に設置出来ます。
- ◆ プローブ内でデジタル化していますので、温度変化やノイズの影響を受けにくい構造になっています。
- ◆ データ回収や電池交換・メンテナンスも容易に行えます。